

真光苑だより

四季はめぐり、真光苑も名物の大いちょうが色づいたと思ったら、早や落葉による絨毯が紡がれました。浄土の風光を表すがごとくの四季彩の丘も本格的な冬仕度をはじめました。

古来人生を四季にたとえ、青春、朱夏、白秋、幻冬と年代を区切る言い伝えがあります。青春はだれもが謳歌した若かりし人生のひと時であり、詩人で童謡作家の北原白秋の白秋や五木寛之さんが名付け親の出版社の幻冬舎の幻冬はお聞きになったことがあるでしょう。まさに色と季節のイメージが相まってその人の人生の喜びや苦しみ、興奮や消沈、感激や虚無といった経験を感じさせる言葉です。

仏教の教えにもあるように、人は必ず老いてやがて死をむかえることから逃れるすべはありません。いくらアンチエイジングや不老長寿とって道理に逆らってみても詮無いことです。それより、老いと上手につきあうグッドエイジングを考えてみたいものです。冬の始まりは、生かされている命を精一杯生きて、従容として人生を終わり、浄土に往生することに思いをはせさせる季節でもあります。

最後になりましたが、今回の笹子トンネルの崩落事故に関し多くの方から心配の電話を頂戴しました。被害者の中に真光寺・真光苑に縁のある方はいらっしゃいませんでしたが、お亡くなりになられた方には謹んで哀悼の意を表します。合掌。



真光苑

☎ 0120-211-017

〒409-1306 山梨県甲州市勝沼町山 1539 真光寺内 TEL&FAX:0553-44-0802
 真光苑 東京案内所 〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-3-1 TEL:03-3723-1201